

1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

学校名	奈義町立奈義小学校	実践者名	福田 雅人
教科	社会	学年	第6学年
活用内容	調べ学習 発表スライド作り	実践日	令和3年10月11日
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
単元・内容等	室町時代の文化		

活用の概要（目的・活用場面・使用アプリ名を含む）

【前時まで】

室町時代の学習課題を作り、インターネットやデジタル教科書を利用しながら、グループに分かれて1つの課題について情報を集めた。



【本時】

- (1) 集めた資料を持ち寄り、発表に向けたスライド作りを行う。
- (2) 小見出しごとに、説明の文章や画像の貼り付け、キーワードを目立たせる等の工夫を行う。
- (3) スライドや模造紙などを活用して発表資料を作成する。(どちらを選んでも可能)
- (4) グループごとに発表する。
- (5) 振り返りを行う。



実践者の手ごたえ

児童は意欲的に活動に取り組んでいた。児童は、活動をとおして、調べた情報をそのまま発表資料にすると、言葉が難しく、相手に伝わりにくいこと、聞く人がメモを取りにくいこと等に気付くことができていた。

児童生徒・保護者等の主な反応や声

(児童から)
「小見出しごとに情報を整理するのが楽しかった。」「写真の場所や、文字の大きさや色を何度も試してやり直せるので、とても便利だと思った。」「発表資料を作るときは、もっと量を少なくして大切なことを強調しないと、伝わらないことが分かった。」